

2014年12月5日

スバル レヴォーグ搭載の1.6ℓ インテリジェント“DIT”が
平成26年度日本燃焼学会「技術賞」を受賞

富士重工業が、レヴォーグに搭載する1.6ℓ 水平対向直噴ターボ“DIT”エンジン「1.6ℓ インテリジェント“DIT”」が、「過給ダウンサイジングエンジンの開発」で、平成26年度日本燃焼学会「技術賞」を受賞しました。

【受賞内容】

1. 受賞対象：「過給ダウンサイジングエンジンの開発(FB16“DIT”）」
2. 受賞者：

佐々木 礼	富士重工業株式会社	スバル技術本部	エンジン設計部
保坂 亮太	富士重工業株式会社	スバル技術本部	パワーユニット研究実験第一部
横山 誠	富士重工業株式会社	スバル技術本部	パワーユニット研究実験第一部
塚本 直輝	富士重工業株式会社	スバル技術本部	パワーユニット研究実験第二部
平岡 直樹	富士重工業株式会社	スバル技術本部(環境対応)	兼 パワーユニット研究実験第二部
勝俣 雅人	富士重工業株式会社	スバル技術本部(環境対応)	
金子 隆	富士重工業株式会社	スバル技術本部	CAE 部

「1.6ℓ インテリジェント“DIT”」は、2014年6月発売のスポーツアラー「レヴォーグ」に搭載。国産本格ダウンサイジングターボエンジンとして、レギュラーガソリン仕様に強くこだわりつつ、動力性能と環境性能を高次元で両立させることで、スポーツアラーに相応しいスバルらしい新世代エンジンに仕上げました。

2.0ℓ 直噴ターボエンジン技術を基に、排気量を1.6ℓとダウンサイジングしながらも、2.5ℓ NA エンジン相当の出力性能を達成。レギュラーガソリンに対応させつつ、燃費性能を大幅に向上させた点が評価されての受賞となりました。

日本燃焼学会は、国際燃焼学会(The Combustion Institute)の日本支部であり、燃焼に関する基礎研究から機器の実用化研究まで行う、日本の燃焼研究分野において最も権威ある学会です。この日本燃焼学会から授与される「技術賞」は、燃焼応用技術の研究・開発に顕著な功績をあげた個人又はグループに贈呈される賞です。

<ご参考>

- 日本燃焼学会 web サイト

<http://www.combustionsociety.jp/>

- スバルオフィシャルウェブサイト(1.6ℓ インテリジェント“DIT”開発ストーリー)

<http://www.subaru.jp/about/technology/story/dit/dit01.html>



1.6ℓ インテリジェント“DIT”